

電子カルテを活用した褥瘡発生リスクに関する研究

1. 研究の対象

2016 年 3 月～2021 年 2 月において当院に入院された方

2. 研究目的・方法

近年、入院患者の褥瘡予防が強化されている。平成 30 年度から入院時の褥瘡リスク因子の評価に皮膚の脆弱性が追加された。皮膚損傷の発生あるいは再発しやすい状態の有無についてのアセスメントが加わった。しかしながら先行研究によると、臨床での褥瘡リスク因子の評価は不十分であり、褥瘡予防の対策は十分実施できていない。そのため本研究では、褥瘡ハイリスク患者の同定のために、電子カルテ内の入退院情報等を用いて褥瘡発生の予測モデルを構築する。

なお、研究期間は研究機関の長の許可日から 2023 年 3 月 31 日とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、栄養・皮膚状態、排泄状態、褥瘡の有無 等

4. 利益相反

本研究は日本電気株式会社が出資して大阪大学大学院医学系研究科に設置された研究室が実施します。研究を行うときにその研究を行う組織あるいは個人（以下「研究者」という。）が特定の企業から研究費・資金などの提供を受けているとその企業に有利となるように研究者が研究結果を改ざんあるいは解釈したり、また都合の悪い研究結果を無視するのではないかという疑いが生じます。（こうした状態を「利益相反」といいます。）この研究における利益相反は、大阪大学大学院医学系研究科・医学部臨床研究利益相反審査委員会による審査を受け、承認を得ています。我々はその審査結果に基づき、利益相反を適正に管理して研究を行います。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

国立大学法人大阪大学 大学院医学系研究科 ゲノム情報学共同研究講座 伊藤 沙紀子

住所：〒565-0871 吹田市山田丘 2-2 電話：06-6210-8361